

旧上瀬谷通信施設の土地利用に向けた新たな交通および周辺道路ネットワークの検討について

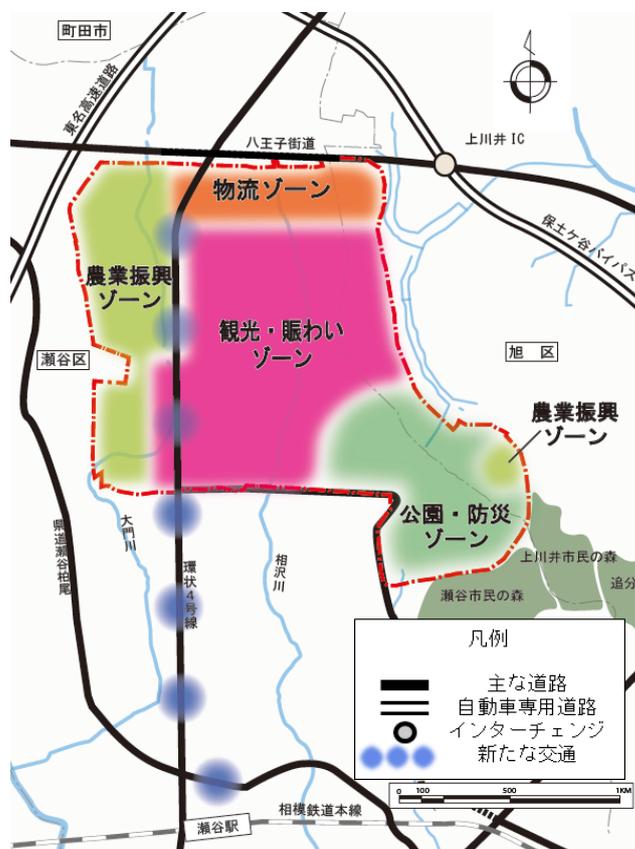
【概要】旧上瀬谷通信施設は、平成 27 年 6 月に返還された米軍施設の跡地です。返還後の土地利用について、まちづくりの方針や土地利用の考え方をまとめた「旧上瀬谷通信施設土地利用基本計画（素案）」（別紙：参照）が令和元年 12 月に公表されました。横浜市では、まちづくりに関連する「関連施設」として、「新たな交通」や「周辺道路ネットワーク」について下記の通り、今後検討を進めます。

【新たな交通】

旧上瀬谷通信施設における大規模な土地利用転換に伴い、発生が想定される交通需要に対応し、本市郊外部の新たな活性化拠点の形成に資する、瀬谷駅を起点とした新たな交通（中量軌道等：LRT、新交通システム、モノレール等）の導入に向けて、設計等を進めます。

【周辺道路ネットワークについて】

東名高速道路や保土ヶ谷バイパスなどの広域的な幹線道路から流入が想定される交通量の増加に対応するため、八王子街道など、都市計画道路等の整備による道路ネットワークの強化に向けて、設計等を行います。



新たな交通のルートイメージと周辺の道路網